

第7回・第8回千葉市公式記録会
新型コロナウイルス感染拡大防止対策

【記録会運営について】

- 大会は会場内外問わず、無観客とする。(保護者・応援生徒・付き添いの禁止)
- 生徒役員の配置はしない。
- 競技役員は役員打ち合わせ前に、本部にて当日の検温を申告する。
- すべての大会関係者はマスクを着用する。ただし、競技中の選手についてはマスクの着用はしなくても良い。また、熱中症には十分注意する。
- 引率職員は、原則競技役員を行う。その際には役員証を携行する。
ただし、学校事情等で競技役員が行うことができない場合には、あらかじめ専門部委員長にその旨を伝える。大会当日には検温・記名の上、引率証を携行する。その際は自陣で待機することとする。
- 競技役員への水分補給は、各自で持参する。お弁当の用意はしない。
- 雨天練習場は選手及び競技役員の控え場所とする。荷物の管理は各自で責任を持つこと。コインロッカーは使用可とする。
- 競技場の換気をするために全ての窓は開放する。
- 大会関係者・選手が使用する各部屋やトイレなどはこまめに消毒する。
- 雨天練習場の水道に石鹸を用意し、選手や競技役員の手洗い場とする。
- 選手の控え場所は、陸上競技場芝生スタンド、陸上競技周辺(競技場に面したアスファルト上)とする。
必ずソーシャルディスタンスを保つこと。メインスタンドは開放しない。
- 記録の発表は、掲示場所を広げて貼り出すようにする。
- 多くの選手が使用した用器具については、消毒を行う。

【競技運営について】

- 選手は、記録会本部より事前に配布された健康管理チェックシート(記録会前1週間の検温と体調チェック)を、大会当日に記録会本部に提出する。未提出者については、参加することができない。(提出が確認されたことを受けて、1次招集完了とする。)また、密を防ぐために、提出は学校ごとに一覧票順に重ね、代表者がまとめて提出することとする。なお、棄権をする選手がいる場合には、代表者が同時にその旨も本部役員に伝える。(プログラム訂正も同時に行う)
- 出発係は、訂正プログラムを基に、最終コールを行う。
- 出場選手は、競技時間の15分前に下記の場所に集合する。(ソーシャルディスタンスは意識する。)トラック競技は各スタート場所にある腰ナンバーカードを自ら受け取り、右腰につける。その後、出発係の最終コールを受け、競技場に入場する。荷物はその場所に置いておく。選手の荷物は運搬しない。
※第8回は腰ナンバーカードを使用しない。
- ◇100m 第4ゲート外側 ◇800m 第1ゲート外側
- ◇走高跳 走高跳跳躍ピット ◇棒高跳 棒高跳跳躍ピット
- ◇走幅跳 走幅跳跳躍ピット ◇砲丸投 砲丸投投擲ピット
- トラック競技でスターティングブロックを使用する種目に出場する選手は、設置前に主催者で用意したアルコール消毒液(ジェル)で手指消毒する。

- 使用した腰ナンバーカードは、レース終了後自ら外し、安全ピンをつけた状態で返却かごの中に入れる。使用済み腰ナンバーカードは主催者側で消毒を行う。※第8回は腰ナンバーカードを使用しない
- 各競技終了後は、役員の指示で雨天練習場に向かい、手洗いをを行う。
- 棒高跳、砲丸投で使用するすべり止めは主催者で用意しないので、各自準備する。また、すべり止めを他人と共有はしない。
- 砲丸投では、試技前後に手・指・首の消毒をする。また、競技開始前と終了後には砲丸の消毒を行う。
- 表彰は行わない。